



石倉橋下の釣人 Fishing under the Ishikura bridge ...

© photo by Isao Yoshida

本年度の方針

第五十二代会長 間邊元幸



飯能ロータリークラブは、本年度創立 52 年目を迎えました。半世紀を過ぎたクラブとしてロータリーの原点に還り、飯能クラブの良き伝統は守りながら、時代の変革にも対応できるように、会員の皆様のご協力のもと 1 年間努めてまいります。

2015 年～2016 年度 RI 会長 K. R. ラビンドラン氏 (スリランカ) のテーマは、「世界へのプレゼントになろう」であり、第 2570 地区 高柳育行ガバナーは、「ロータリーの心を実践しよう」をテーマに掲げました。方針を、活力あるクラブとなるように支援をし、謙虚で誠実、思いやりのある心で実践をし、適切な地区運営と財務管理に努めますと示されました。

私は RI 会長のテーマ、高柳ガバナーの方針を参考に本年度は、1～6 を重点目標として運営します。

1. 会員増強
2. バランスのとれた親睦活動と奉仕活動
3. 全員参加の充実した例会
4. ロータリー財団・米山記念奨学への支援・協力
5. 公共的イメージの高揚
6. 中・長期計画を立てる。

『相手を思いやり行動しよう』

を、スローガンとして一年間務めますので、会員の皆様のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

任期及び創立50周年記念式典を終了して

第五十一代会長 山 川 荘 太 朗



2014年～2015年度RI会長 ゲイリー C.K. ホアン氏は「ロータリーに輝きを」が今年度のテーマとして、私達を鼓舞させてくれました。

マロウドからヘリテイジへ例会場を変更及び移動しました。

そして私は、本年度の方針に、① 50周年を皆で作りに、皆で祝おう ②会員増強 ③充実した例会 ④親睦と奉仕 ⑤ロータリー財団 ⑥クラブの公共的イメージの高揚 を掲げました。



記念事業の時計塔

なんといっても本年度の一番は創立50周年記念式典でした。実行委員長の中里昌平氏、副委員長の石井道夫氏、矢島巖氏の指導により、半世紀に一度の式典は、大成功のうちに終了することができました。各委員会が活発に機能してくれたおかげと感謝しております。

飯能RC 50周年で初めての、本年度RI会長の祝辞も届き、記念誌に載せてもらうことができました。くわしくは、記念誌をお読みください。

又、国際奉仕委員会ではベトナムの高校にパソコン30台とプリンター3台を寄贈しました。

親睦活動委員会の旅行は5月に安芸の宮島に行き、広島原爆ドームや瀬戸内海国立公園の中のもみじ谷にある岩惣に泊まり、舟で巖島神社の大鳥居をくぐり、次の日には岩国のロータリアンの店で昼食し、バナーの交換を致しました。飯能RC初めての、56名という多勢の皆様が参加しました。森 健二委員長による一年半前からの企画が実を結び、会員相互の絆が生まれました。

又、6/28(日)には、神田康夫パスト会長の旭日双光章受章パーティーがヘリテイジで賑やかに行われました。おめでとうございます。

会長の与えられた任期を無事終了するにあたり、会員の皆様のご指導ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

小川副会長、高橋幹事、矢島高明 S A A さん、事務局の西川さん西脇さんには大変お世話になりました。

メンバー一人一人に深甚なる感謝をこめ、敬意を表し御礼申し上げます。

ご健勝とご多幸そしてさらなる企業のご繁栄を祈念し、且つ次年度の間邊年度のご隆盛を祈り、会員皆様へ御礼と退任のご挨拶とさせていただきます。

皆様、一年間ありがとうございました。